

HP: <https://rakuno.org/>

同窓会通信－野幌だより－

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

トピック (スケジュール)

07月04日 創世寮第二回交友会
07月05日 農経12期50周年同期会
07月05日 酪農20期65歳同期会
 07月05日 農経42期20周年同期会
 07月05日 環境共生10周年同期会
07月05日 ホームカミングデー
 07月05日 白樺祭(大学祭)
 07月06日 獣医岡山県支部総会
 07月17日 酪農18期A組同期会
 07月19日 獣医47期10周年同期会
 07月27日 新潟県支部総会
 08月30日 兵庫県支部総会
 09月13日 東京都支部総会
 10月11日 鹿児島県支部総会
 10月18日 札幌支部総会 ミサワ
 10月22日 獣医06期同期会
 10月25日 酪農学園同窓会in全共
 10月25日 獣医37期20周年同期会
 11月14日 短大Ⅱコース14期同期会

ホームカミングデー「同窓のつどい」報告



去る7月5日(土)のホームカミングデー(酪農学園主催)において、「同窓のつどい」が開催された。この企画は、例年同日夕刻に札幌市内のホテルで開催されていた「合同周年記念同期会」に代わるものとして大学生協2階で実施された。

10時半からはホームカミングデーの総合受付が行われ、参加者には健士健民牛乳や酪農アイスが振舞われた。また同会場では軽食も用意された。150名を超える参加者は猛暑の中、しばし屋内での歓談を楽しんでいました。11時半からされた「同窓のつどい」では野英二会長の歓迎の挨拶後、お米券やビール券、図書券等の豪華?景品が当たる大ビンゴゲームが行われ、大いに盛り上がった。

今回は貴農同志会(教職員OB会)の恩師や上記周年記念同期会該当者および、農経12期生、酪農20期生、農経42期生もそれぞれ節目での同期会開催とともに一部の参加者がこのつどいに参加していた。

ゲーム後、集合写真撮影ののち、白樺並木の記念植樹が行われた。午後からは恒例行事となっている記念礼拝、記念講演が行われ、永眠者の追悼や「リラの花咲くけものみち」の作者藤岡陽子氏の講演等が行われた。



酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2025.04.01

目次:

ホームカミングデー同窓のつどい報告	1
九州地区長崎県支部総会	2
十勝支部足寄支部総会	2
農経12期50周年同期会	2
酪農20期65歳同期会	3
学園創立100周年寄付事業	4
関東甲信越地区千葉県支部総会	4
編集後記	4

2024年度 累計卒業生数

大学院 計	1,778名
大学 計	34,987名
短大 計	9,487名
高校 計	22,223名
合計 計	68,475名

酪農義塾 計	303名
酪農学校 計	*91,517名

総合計 160,295名

地区支部の設置状況()は未設置

北海道1区:石狩	3支部(1)(江別)
北海道2区:道央	6支部(2)(空知1)(胆振2)
北海道3区:道南	5支部(2)(後志1)(後志2)
北海道4区:道北	6支部(1)(留萌1)
北海道5区:道東	6支部(0) 26支部(6)
東北地区:	6支部(0)
関東甲信越地区:	10支部(0)
中部地区:	7支部(0)
近畿地区:	6支部(0)
中国地区:	5支部(0)
四国地区:	4支部(0)
九州地区:	8支部(0) 46支部(0)

同窓会開催報告

九州地区長崎県支部総会報告



去る6月21日(土)、午後5時から諫早市にある焼き鳥割烹伊佐早を会場にして、令和7年度の長崎県支部同窓会総会が12名出席のもと開催されました。

総会では、昨年10月に逝去された故古賀友英さんの黙とうを行った後、松崎秀保長崎県支部長の歓迎の挨拶が行われ、①令和6年度事業報告及び収支決算報告(監査報告)、②令和7年度事業計画及び予算承認(案)についての議事が審議され、それぞれ承認された。

続いて、役員改選が行われ、2代目の松崎秀保支部長の後任に岩永政弘副支部長が新支部長に就任され、前松崎支部長は顧問に就かれた。副支部長には北村政巳氏と原口三徳氏が就任となった。

なお、総会終了後は、同会場、松崎前支部長の乾杯の発声で懇談会が開催され、参加者が少ないにも関わらず、終始和やかな雰囲気で大盛況を見せ、出席者全員による近況報告が行われました。特に第2の人生を謳歌するため、新しく就職された方、定年を機にメロン栽培等をはじめた方など夢と希望に満ちた大学時代にタイムスリップした雰囲気でした。

更に、大学時代の思い出話や大学への思い、近況等も含め話を弾ませ、同じ酪農学園大学の同窓生として、より団結が強まる懇談会となった。

最後に新しく就任された原口副支部長の閉会の挨拶でお開きとなった。(文責 事務局 久保達彦)



十勝管内足寄支部総会報告



6月1日(日)正午より、設立47年目の酪農学園同窓会足寄支部、第44回『総会及び昼食会』を例年通り町内の「ひさご食堂」で開催しました。

今回も、全会員48名(40家族会員含め)にハガキで案内する。当初10名の参加予定で進めていましたが、前日の小学校の運動会・中学校体育祭や当日自治会等の花見が晴天により開催され、最終的に7名で開催することができました。

今回の開催場所も、昨年に続いて消防署を早期退職した大竹口徹さんが、祖母が過去に経営していたお店を引継ぎ、独立して経営主となってこの間頑張っています「ひさご食堂」で開催することが出来ました。

総会では、磯守会長の開会挨拶で、『体調不良の前星孝道会長より直接電話で、会長を頼む』との連絡があった報告もありました。事務局からはこの間の経過と収支決算が報告され承認、会員の移動状況と前星孝道会長の訃報等の報告がされました。又、役員改選では、磯会長以下全役員が留任となり承認されました。

連絡があった近況報告の中には、『今年も両親の介護の為、実家に帰っています。参加出来ません。皆さんによろしく』『農家後継者から『地域の花見交流の為、参加できません』『当日都合があり参加できませんが、来年は参加させていただきます』等があり、例年のごとく年の差は会っても、参加会員が交流することが十分出来ました。

交流会は、磯会長の乾杯で開始、『将来の後継者等の交流の場の同窓会として設立50年までは頑張ろう!!。来年も開催しよう』会員同志の近況状況等が報告され和気あいあいと交流しました。最後の閉会挨拶は、何時もの坂本秀文副会長が一本(閉め)で交流会を閉め、全員で記念写真を撮って解散となりました。

写真は、総会後の交流会状況(懇親する会員・参加者7人全員での記念撮影です!!)1枚。今年もよろしく、お願い致します。(報告; 鈴木利邦事務局長・役員一同)



同窓会開催報告

農業経済学科12期等50周年同期会報



7月5日（土）午前10時半からの酪農学園ホームカミングデーが開催されました。今年は「同窓のつどい」や白樺並木の記念植樹、記念礼拝、記念講演と例年になく盛会でした。

このホームカミングデーに合わせて標記50周年同期会は、同日の午後6時から「新札幌アークシティホテル」を会場に17名の恩師、同窓生にご参加いただき、実施されました。昼間のイベントにも4名が出席していました。50年ぶりの再会の方もおり、皆さん、青春時代の面影を残しつつもそれなりに白髪の翁へと変身していました。

会は美土路知之世話人代表の歓迎の挨拶に続き、永眠された恩師や同窓生を悼み、黙祷で始められました。来賓挨拶では大谷先生から「経済学原論」とも言うべき講義？をいただいた。現代科学の集大成としての核の恐怖やデジタル社会の功罪等示唆に富んだ内容でした。次に中原先生の乾杯のご発声で祝宴に入りました。

当時の状況をふり返るためスライドも放映され、学生時代にタイムスリップしていただきました。

また、各自思い思いに50年の歳月をふり返りながら、テーブルスピーチで越し方を語ってくれました。最後は酪農讃歌を歌い記念撮影ののち閉会となりました。その後、近くの居酒屋で2次会に移動して12名でさらに懇親を深めました。

前回40周年時において、次回開催を「2020年東京」と定めておりましたがあいにくコロナ禍で実現出来なくなり、今回50周年の節目に開催することになりました。お忙しい中ご参加いただいた恩師や遠く中国地区や関東地区からもご参加いただいた同窓に深く感謝申し上げます。（文責 浦川）



酪農学科20期入学&1982年度卒業同窓会報告



7月5日（土）酪農学園ホームカミングデーに合わせて、2004年ぶりに全国規模で標記同窓会を開催しました。友人たちの多くが65歳になる年にあたり、関東・関西はもちろんのこと遠く九州からも総勢34名の同窓生が駆けつけてくれました。

当日は、昼の「酪農学園同窓生のつどい」への参加、また白樺祭が開催されている中の大学探索、夜の同窓会・二次会へと長時間にわたり、それぞれの場で旧交を深めることができました。

午後6時から「ホテルエミシア札幌」にて行われた同窓会においては、幹事代表の歓迎の挨拶に続き、母校に奉職されついさきごろ永眠された佐藤元昭君をはじめ、故人となられた同窓生や恩師へ哀悼の意を表し黙祷を捧げ、同窓生代表 龍前浩史君の乾杯の挨拶で会は開始されました。

会へは、来賓として恩師でもある校友会会長 野英二先生、酪農学園大学元学長 安宅一夫先生、貴農同志会副会長 小阪進一先生のお三方をお招きし、式辞をいただき懐かしく歓談させていただきました。

卒業以来40数年ぶりに再会する同窓生たちも多く、終始にぎやかな会となりましたが、会の最後は、みなで恒例の酪農讃歌を斉唱し、記念撮影ののちお開きとなりました。

（文責 小笠原貴志）



〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



酪農学園同窓会

酪農学園100周年記念寄付事業

創立100周年記念寄付事業

2024ホームカミングデー チャリティTシャツ募金

2,000円で購入いただくTシャツの一部が募金になります。

Tシャツ原価を引いた1,000円程度が

学校法人酪農学園 創立100周年事業への寄付になります。



Tシャツの色: ネイビー
左胸ワンポイント
・背中A4サイズ程度 (白プリント)
※画像はイメージです。実際の生地の色やデザインが変わることがあります。

募集要項(7月よりホームページにて全文公開)

1. 募金の名称 創立100周年記念事業募金
2. 募金の目的・使途
施設の大規模改修・再編
(1) 大学: 研究・実習施設の整備・新設、事務管理棟の集約化など
(2) 高校: 基本方針として、現有施設を活用し続けるための計画的改修など
(3) 附属施設: 旧精農寮保存のための改修、馬術部施設の移転・新設、研修館周りのインフラ整備など

問合せ先: 事務局財務課 011-388-4148 (寄付担当)

関東甲信越地区千葉県支部総会交流会報告



令和7年6月29日14時、千葉県教育会館本館2階会議室において、千葉県支部総会を開催しましたので報告します。総会当日は梅雨時期にも関わらず真夏のような猛暑のなか、高校、短期大学、大学卒業の支部会員総数25名が参加しました。来賓として高橋俊彦酪農学園大学副学長、中出哲也同窓会副会長、福山二仁関東甲信越地区会長、埼玉県支部から廣間善之様、東京都支部から福田豊様、のご臨席を賜りました。

総会は山田事務局長の進行により、鈴木支部長が挨拶の後、議長に任命され議事に入り、第1号議案から第4号議案まで無事承認されました。

議事の後に改めて福山関東甲信越地区会長、埼玉県支部廣間様、東京都支部福田様からご祝辞を頂戴し閉会となりました。

総会に続いての講演会は、高橋大学副学長及び中出同窓会副会長より「酪農学園の現況について」と題し、学園を取り巻く厳しい状況と同窓会として学園をどのように支援できるかについての講演をしていただきました。また、今年の3月まで県立高校で教鞭をとっておられた石村行弘氏より「安房拓心高校の地域と連携したOPU技術の活用例」、当支部事務局長の山田裕康氏より「(株)マザー牧場ハム・ソーセージ工房について」と題したご講演をいただき、時代の変化に対応し、常に新たな挑戦に取り組む卒業生の話に酪農学園の建学の精神を感じました。

また、本同窓会で一番楽しみにして来られる方もいらっしゃるという、船橋市の卒業生が営んでいる皆川牧場さんから、都内の有名百貨店にも納品している自家製チーズ(フレッシュチーズセット)を数量限定で特別に提供していただき、瞬間に売り切れてしまいました。

講演会の予定時間が大幅に過ぎてしまいましたが、まだまだ語りつくせない話は交流会へ持ち越されることになりました。会場を出ると日が陰り日中の暑熱もやや納まり、総勢20名が交流会場に向かいました。

交流会場は千葉駅に近い「伊達のくら 千葉店」で、講演会で語り切れない話題や近況などを語り合い、美味しい料理とお酒を酌み交わし、あっという間にお開きの時間になりました。そして締めはやや遠慮がちに「酪農讃歌」を合唱し、名残を惜しみつつそれぞれの帰途に就きました。(文責: 森田秀雄)

編集後記 温暖化の影響からか7月始めのホームカミングデーは30度を超える猛暑の中で行われました。

北海道の夏も爽やかな印象から、だんだん暑くなってきています。そのためクーラーの普及が進んでおり、構内の施設もだいぶ導入されました。とはいえ、お盆を過ぎると秋風が吹いて山の上から紅葉がおりてきて実りの秋を迎えますので暑い時期も限定的です。

6月、7月と同窓会の開催が多かったのですが、お盆前後に一休みして、収穫の秋後にピークを迎えるような感じですが、同窓生みなさんも熱中症にかからないように水分補給をしてこの夏を乗り切ってください。



酪農学園大学

ブランドマークとキャッチフレーズ

生きるを学ぶ。
学びが生きる。

